



平成28年10月31日

各 位

上場会社名 株式会社 田中化学研究所
 代表者 代表取締役 社長執行役員 田中 保
 (コード番号 4080)
 問合せ先責任者 取締役 執行役員 嶋川 守
 (TEL 0776-85-1801)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,100	160	120	100	6.73
今回修正予想(B)	7,700	△105	△215	△198	△13.33
増減額(B-A)	600	△265	△335	△298	
増減率(%)	8.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	7,326	△80	△146	12	0.81

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,200	500	400	350	18.21
今回修正予想(B)	17,000	240	60	50	2.60
増減額(B-A)	△200	△260	△340	△300	
増減率(%)	△1.2	△52.0	△85.0	△85.7	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	15,266	△301	△574	312	21.05

※平成29年3月期通期業績予想の1株当たり当期純利益の算定にあたっては、第三者割当により新株式発行(払込期日平成28年10月31日)を行っており、割当株式数10,500,000株の増加を反映しております。

修正の理由

第2四半期累計期間において、円高が進行したものの、売上高は環境対応車用途の主要顧客における受注量回復や、民生用途及び環境対応車用途のリチウムイオン電池向け新製品が本格的に販売に寄与したことから、当初計画を上回る見込みであります。しかしながら、円高の影響に加えて前年夏場以降低迷を続けた当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場が、米ドルベースでは第1四半期会計期間において下げ止まり、また、当第2四半期会計期間には円ベースの価格でも漸く底打ちし回復に転じたものの、その戻り幅は限定的で、営業利益、経常利益および四半期純利益は当初の予想を下回る見込みであります。

通期の業績においても、これら第2四半期累計期間における損失の影響や足元の為替及び主原料相場の動向を考慮し、上表のとおり業績予測を修正いたします。

※なお、上記の予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績等は予想値と異なる場合があります。

以上